

社会資本整備審議会道路分科会 第47回東北地方小委員会
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和7年3月10日（月） 11:00～12:00

2. 場 所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予報センター

3. 出席委員

井岡 佳代子	東北学院大学 経営学部 准教授
小笠原 孝史	一般社団法人 東北経済連合会 専務理事
葛西 誠	秋田工業高等専門学校 土木・建築系空間デザインコース 准教授
菊池 輝	東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科 教授
吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授
若菜 千穂	特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事

4. 議事内容

審議結果

【国道13号】横手北道路 新規事業採択時評価

- ・新規事業化については妥当である。

【国道112号】山形南道路 新規事業採択時評価

- ・新規事業化については妥当である。

主な意見

【国道13号 横手北道路】

○冬期に特有の課題がある箇所について、今回から参考値として、走行時間信頼性向上の便益も含めて評価していることは理解している。しかし、年間を通しての評価であることから、期待する効果が数値に表れていないように感じる。したがって、東北地方のように冬期の交通障害が著しい所は、冬期の効果に絞って分析することで、より適切な評価が出来ないか検討いただきたい。

【国道112号 山形南道路】

○都市計画手続きにおいて、地元から盛土構造について意見があったと思うので、今後、検討を進める際は、地元の意見についても考慮しながら進めていただきたい。

【共通】

○B/Cは参考値を見ても都心部が大きく出ている。

気を付けなければならないことは、既存の評価手法では都心部が優遇されてしまうということである。是非とも地方部も評価されるような多様な効果の評価検討をお願いしたい。